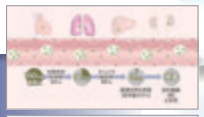
薬の基礎知識



本シリーズは、看護学生をはじめコメディカルスタッフを対象に、治療に欠かせない薬について、医薬品の規制、薬理学、臨床上よく用いられている薬（薬効群）の理解に必要となる基礎的な知識をわかりやすく解説しています。薬効群は今日の日本で患者数の多い五大疾患の治療・予防に用いられるものを取り上げています。

DVD NEW

■ 監修：杉山 篤 東邦大学 医学部 医学科 薬理学講座 教授

● DVD全5巻
■ 各巻価格　¥28,000（本体価）＋税
■ セット価格　¥140,000（本体価）＋税

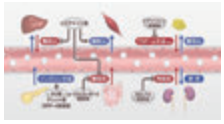
Maruzen eVideo 丸善e-Video対応 1巻￥30,800～

VOL. 1 薬とは　NEW　58分

■ イントロダクション：処方箋例、薬の目的・効果 ■ 医薬品とその規制：薬とは、医薬品の規制 ■ 医薬品の剤形：成分、経口、外用、注射 ■ 薬物の体内動態（ADME）：吸収、分布、代謝、排泄、生物学的利用率、血液脳関門 ■ 薬物の作用機序：薬理作用（主作用、副作用、有害作用）、作用機序（作用点、受容体、作動薬・拮抗薬）、薬理作用への影響（個人差に影響する因子、薬物相互作用） ■ **添付番組**「薬物療法における看護師の役割」：誤薬の防止、服薬に関する患者指導、治療効果の確認、有害作用の発見・予防

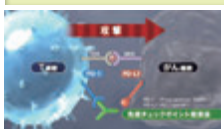
■ **制作協力：櫻庭 奈美** 東邦大学 看護学部 がん看護学 講師

VOL. 2 主な疾患と薬（1）　NEW　41分



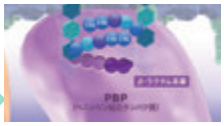
糖尿病、脂質異常症、高血圧、血栓・塞栓 ■ イントロダクション：五大疾患、生活習慣病、メタボリックシンドローム ■ 糖尿病と薬：糖尿病とは（血糖の調節、病態、合併症）、経口血糖降下薬（インスリン分泌促進薬、インスリン抵抗改善薬など）、インスリン製剤 ］■ 脂質異常症と薬：脂質異常症とは（病態、脂質の体内動態）、治療薬（スタチン、陰イオン交換樹脂、フィブラート系） ■ 高血圧と薬：高血圧とは（因子と調節、病態）、降圧薬（ACE 阻害薬、ARB、Ca 拮抗薬、交感神経抑制薬、サイアザイド系利尿薬） ■ 血栓・塞栓と薬：血栓（凝血、血栓塞栓症）、抗血栓薬（抗血小板薬、抗凝固薬、血栓溶解薬） ■ 添付（薬剤リスト、Q&A）

VOL. 3 主な疾患と薬（2）　NEW　42分



悪性腫瘍、統合失調症、うつ病、不安症 ■ イントロダクション：五大疾患、がん、精神疾患 ■ 悪性腫瘍とは：がん細胞の増殖、悪性腫瘍の種類 ■ 悪性腫瘍と薬：殺細胞性抗悪性腫瘍薬、分子標的治療薬、個別化医療 ■ 中枢神経系と神経伝達物質：精神疾患と要因 ■ うつ病と薬：うつ病の症状、抗うつ薬 ■ 不安症と薬：不安症の種類、抗不安薬 ■ 統合失調症と薬：統合失調症の症状、抗精神病薬 ■ 添付（薬剤リスト、Q&A）

VOL. 4 主な疾患と薬（3）　NEW　44分



感染症（細菌、ウイルス、真菌）、咳嗽 ■ イントロダクション：五大疾患、感染症と病原微生物 ■ 感染症と病原微生物：細菌、真菌、ウイルス、感染症の治療 ■ 細菌感染と薬：細菌の構造、細胞壁合成阻害薬、蛋白合成阻害薬、DNA・RNA合成阻害薬、耐性菌 ■ ウイルス感染と薬：ウイルスの増殖、抗インフルエンザウイルス薬、抗ＨＩＶ薬 ■ 真菌感染と薬：表在性真菌症、深在性真菌症、抗真菌薬 ■ 咳嗽と薬：咳嗽の種類、鎮咳薬 ■ 添付（薬剤リスト、Q&A）

VOL. 5 主な疾患と薬（4）　NEW　45分

炎症、アレルギー、気管支喘息、関節リウマチ ■ イントロダクション：五大疾患、炎症、アレルギー ■ 炎症、免疫の異常：炎症とは、免疫の異常 ■ 炎症と薬：NSAIDs、副腎皮質ステロイド ■ アレルギー疾患と薬：Ⅰ型アレルギー、抗アレルギー薬 ■ 気管支喘息と薬：気管支喘息の病態、気管支喘息治療薬 ■ 関節リウマチと薬：関節リウマチの病態、抗リウマチ薬 ■ 添付（薬剤リスト、Q&A）

©2019 ～ 2020

看護実践のためのがん看護

がん看護には、患者のQOL（クオリティ・オブ・ライフ：生活・生命の質）への配慮、緩和ケア、初期診療から社会復帰にいたる支援など、技術的・精神的に高度な専門性が必要とされ、他の慢性疾患看護とは異なる特徴があります。また、看護師が専門知識に基づいて患者の状況や心理状態を考慮することにより看護の質を向上させ、医療全般に好影響を及ぼすことも期待されます。本シリーズでは、がん看護における基本的な知識や技術、ケアのポイントなどについて解説し、看護師の役割について説明します。

● DVD全5巻
■ 各巻価格　¥28,000（本体価）＋税
■ セット価格　¥140,000（本体価）＋税
● 対象：看護学生、臨床看護師新人研修 など

DVD

Maruzen eVideo 丸善e-Video対応 1巻￥30,800～

VOL. 1 がん看護概論　28分

■ **監修：林 和彦** 東京女子医科大学 化学療法・緩和ケア科 教授
■ **原案：金子 眞理子** 和洋女子大学 看護学部 看護学科 精神看護学 教授
■ がんの発生のメカニズム（多段階発癌説）、がんの原因と予防（疫学調査、外的要因、内的要因、発がん物質、がん予防対策）、がんの種類と特徴（良性腫瘍、悪性腫瘍、浸潤、転移）、がんの治療（TNM 分類、病期ステージ、手術療法、化学療法、放射線療法）、がん看護に携わる看護師の役割 など

VOL. 2 身体症状のアセスメントと看護援助　33分

■ **原案監修：金子 眞理子** 和洋女子大学 看護学部 看護学科 精神看護学 教授
■ がん性疼痛、倦怠感、呼吸器症状、浮腫など、治療に伴う副作用など ■ がん患者が抱える身体的諸問題と看護援助 など

VOL. 3 精神症状のアセスメントと看護援助　36分

■ **原案監修：金子 眞理子** 和洋女子大学 看護学部 看護学科 精神看護学 教授
■ 病と受容過程・サイコオンコロジーの概念、ストレスとこころのはたらき、精神症状のアセスメント（不安・抑うつ・怒り・せん妄）とケア、効果的な看護援助（コミュニケーション技法と認知行動療法の紹介）など

VOL. 4 在宅におけるがん看護と家族へのケア　39分

■ **原案監修：大金 ひろみ** 東京医療保健大学 医療保健学部 准教授
■ **学術協力：金子 眞理子** 和洋女子大学 看護学部 看護学科 精神看護学 教授
終末期医療の現状と在宅緩和ケアのポイント（がんの死に至るまでの特徴、在宅緩和ケアを行うための条件、導入期から死別期までの各時期の看護）在宅がん看護の実際（終末期から最後までを在宅で過ごされたがん患者さんの事例、がん末期に出現しやすい苦痛症状とケア、看取りに向けた看護）など

VOL. 5 チーム医療におけるがん看護と倫理的課題　25分

■ **原案監修：金子 眞理子** 和洋女子大学 看護学部 看護学科 精神看護学 教授
インフォームドコンセントと看護援助、ギアチェンジ・治療の意思決定と看護援助、がん患者が抱える実存的（スピリチュアル）問題と看護援助、QOL と看護援助、終末期における倫理的課題（鎮静（セデーション）・事前指示（アドバンスディレクティブ）・DNRと看護援助）、倫理的課題を抱える事例のアセスメント方法と看護援助 など

©2014 ～ 2015

IME 医学映像教育センター

IME.20.03_A1